

ロシア語の辞書について

外大に入学した以上、辞書との付き合いは避けられません。恐らく一冊で済ますことも不可能でしょう。まずは一冊入手して使い方に慣れ、必要になったら二冊目を考えて下さい。ここでは1年生になって最初の一冊目の露和辞典として適切と思われるものをいくつか紹介します。

(1)『博友社ロシア語辞典』

不規則変化形を見出しとするなど初学者向けの様々な工夫がなされていますが、ここで紹介する辞典の中では語数が最も少なく4年間これ一冊は難しいかも知れません。ただ、最初の出版は一番古いものの、1995年に改訂版も出され新しい語彙も追加されました。一冊目の辞書としてはおすすめるものです。また、巻末に簡単な和露も付いています。

(2)『研究社露和辞典』

この中で最大の語彙数を誇る我が国最大の露和辞典です。4年間勉強していればいずれはこれ入手する必要があるでしょう。ただし、『エイズ』はぎりぎり掲載されていますが、『インターネット』は載っていません。そのくらいの時代に出版された辞書ですが、その価値は決して下がっていません。

(3)『岩波ロシア語辞典』

研究社の辞書より少しだけ収録語彙数が少ない代わりに、少しだけ新しい辞書です。語義説明に研究社にはない工夫があったり、またこちらにだけ載っている語や熟語、語義もあるなど研究社とともに是非そろえたい辞書です。

(4)『コンサイス露和辞典』

この中で最も新しく、『インターネット』という語が載っている唯一の辞書。コンピュータ関係を含め、激動するロシアに次々に生まれる新語を他よりも押さえています。また、物理的なサイズはこの中で最小ですが語彙数は博友社より多く、必然的に説明があまり詳しくありませんが、携帯用にとっても重宝します。

この他にもいくつかの露和辞典が出版されており、それぞれの良さがあります。ただ、それらはいずれも語彙やその他の情報を極端に限定した超初級者向けで、専攻課程でロシア語を学ぶ人にはすぐに物足りないものとなってしまいうためここでは紹介しませんでした。

電子辞書について

ロシア語の電子辞書はカシオから発売されています。中身は上述の(4)『コンサイス露和辞典』です。他に和露と露英・英露、にロシアで出版された露露辞典、英和・和英なども収録されています。なんとと言ってもこれだけの内容が小さな本体に収録されていますので、携帯用にならこれがおすすめです。ただし、辞書はいずれであっても一冊で済ませることは不可能です。電子辞書に慣れてしまうと他の紙の辞書を引くのがおっくうになるのでそれには気をつけてください。まずは一冊、紙の辞書を購入した後に「二つめ」以降として考えて頂きたいものです。

以上、いずれの辞書も優れた労作です。一冊目の辞書としてこの中でどれが一番自分に合っているかは、書店などでそれぞれを手にとって何か単語を引いてみて決めて下さい。これから長い付き合いとなる最初の相棒を選ぶのですから、引きやすさや見やすさなど感覚的な要素も重要です。

またどんな言語でもそうでしょうが、外国語を勉強するときに最も重要な参考書は辞書です。辞書には単に単語の意味が記されているだけでなく、様々な熟語や文法情報も記されており、それらの情報の読み取り方には繰り返し使うことによる慣れが必要です。一冊入手したら繰り返し色々な単語を引いてその辞書の世界に早く慣れ親しんで下さい。